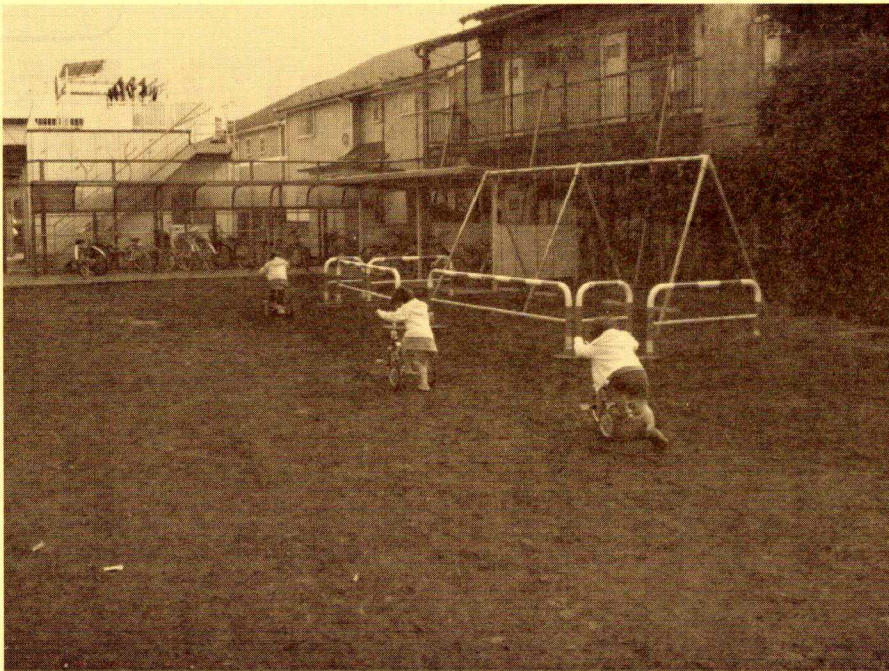


ぴーちっこ

発行 社会福祉法人 聖友ホーム
聖友乳児院（乳児院）
聖友学園（児童養護施設）



目次 ●コラム 多くの人々の力が 私立世尊院幼稚園 園長 大沢聖隆……………2

●ふわふわ 学園 クリスマス会&新年の集い……………4

●すくすく トイレトレーニング……………5

●この指とまれ 学園空手教室紹介……………6

●「ありがとうございました」……………7

〒166-0001 杉並区阿佐谷北 3-28-19

聖友乳児院 TEL 3338-1849 FAX 3338-4679

聖友学園 TEL 3338-1844 FAX 3338-1894

Eメール（共通） seiyugakuen@nifty.com

多くの人々の力が



私立世尊院幼稚園

園長 大沢聖隆

「平成二十年の四月から三歳児の入園をさせていただけますか？」

二月当初に聖友学園の先生からお話がありました。そのお話を受けた時、幼稚園の園長として最初に感じたことは、「すごいな」。聖友学園の先生達の努力はすごいな。というものでした。

と同時に、私の記憶が蘇ってきました。三十数年前のことです。

当園に勤務する前に、短い期間でしたが、私も或る養護施設の指導員を勤めさせていただいたことがあります。

そこでは、指導員を「お兄さん」、各部屋の担当の保母さんを「お姉さん」と呼んでいました。私も「大沢お兄さん」と子どもたちからそう呼ばれました。あつたのですね！私にもそんな若い頃が。遙か遠い昔です。今はもうお爺・・。

その園にも七・八人の幼児が在園しており、施設内の保母さん（当時はそう呼称さ

れていました。）が保育をしていました。朝食後、九時になるとそれぞれの部屋から、園のホールに登園です。

「お早うございます。」の可愛い声での挨拶。朝の歌に始まり、お絵かきをしたり、歌を唄ったり、天気の良い日は近くの公園に散歩したりなど、他の保育園と同じような活動をしておりました。

「社会性の広がり求めて」

しかし、同じ園内で寝食を共にしている幼児たちだけでは、その子たちに必要な「社会性の育ち」を考えた時、園内の子どもたちだけではその広がりが少ないことに気がつき、何とかして幼稚園に通園させることができないだろうかと園長先生に相談しました。園長先生もその点は気が付かれており、都に打診をしていただきましたが、都からの回答はそのための費用は増額できないというものでありました。

園長先生はその回答を聞き、私たちに、「現行のままでは、通園に掛かる費用の捻出も難しく、遣り繰りで多少の費用は捻出できるが・・」と答えを出してくださいました。

その答えは苦渋なものであつたと思えます。園長先生も、幼児の育ちに大いに気

を配っていらしたからです。今でもその気持ちに感謝しております。

その答えをいただいた後の私たちの考えは、近隣の幼稚園へ打診してみよう。それも入園料・保育料も半額でというものでした。

その頃、私も未だ若かったためか、自分たちの願いや目的は間違ひなく聞き入れてもらえると思っていました。

でも、現実はそのなにごとに甘くはなかつたのです。

今でも覚えておりますが、四ヶ園の園長にお会いして私たちの「願い」をお話しましたが、なかなか受け入れてもらえません。二度三度しつこく会っていたこともありました。やがては電話にも出られなくなりしました。

全ての幼稚園は「否」でした。かなりの徒労感を感じました。でもそうかもしれませぬ。今だから思うことですが、当時は園児も多く、わざわざそのような幼児を受け入れる必要はなかつたのだと思っております。

最後に私の父が園長でしたので世尊院幼稚園はどうかと聞いたところ、通園できるならば「いいぞ」というものでした。（それならば、一番最初に世尊院幼稚園に行けばと思われるかもしれませんが、当時は父

と確執があり、素直にお願いできなかったのです。」

しかしながら、電車での通園でもあり、当時の学園のスタッフはぎりぎりの配置で、駅まで二十分歩き、そして電車、とても世尊院幼稚園への通園は困難と判断し断念することになったのです。

長々、思い出話を書いてまいりましたが、そんな体験をしたこともあつて、聖友学園の先生方の努力に「すごいなく。」の感嘆が湧いたのです。

「聖友学園との出会い」

聖友学園の子どもたちとの出会いは昭和五十七年に遡ります。

昭和五十七年に五人(だったと思います。この辺りの記憶はあやふやです。ゴメンナサイ。老化が始まっていますので。)の子どもが、初めて年中児に「入園」してくれました。

私は、昭和五十四年に幼稚園に勤務しましたが三年目での入園です。養護施設を退職してたったの三年です。あの当時、もっと努力すれば、勤務していた園の子どもたちも幼稚園に通園できたのかも悔やみました・・・。

あれから二十五年が経っています。沢山の学園の子どもたちも卒園していきました。今、テレビドラマで活躍している子どももいるそうです。海外留学をした子もいます。そして、多くの子どもたちが、世に名前はでなくても、立派な社会人として活躍しています。そこには、聖友学園で過ごした時間が生きているのでしょね。勿論、本人の努力もありますが、その時間を一緒に過ごした学園の先生方の努力も忘れてはいけないと思っています。今も、より良い学園での生活が送れるようにと先生方も懸命な努力をしてくださっています。本当に頭が下がります。

「地域の教育力IIコミュニケーション」

それから、特筆しなければならぬのは、学園をバックアップしてくださる方々の、そして、地域の人々のご協力の賜物だと感じています。この「ぴーちっこ」にも多くの方々の協力があることが明記されています。

今、小学校や中学校では、「学校運営協議会」の発足が始まっています。この協議会は、地域住民と学校とその保護者が一体となって、より良い学校づくりをしていくことを目的としています。子どもたちの

育ちには「地域力」が必要となってきているのですね。事ほど左様に(古い!)荒廃してきている社会の多くの人々の力で立て直していくことなのですね。

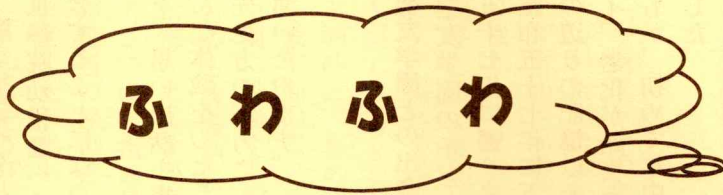
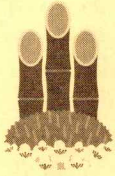
平成二十年。学園の子どもたちが当園に入園されてから二十六年目に年少児さんの入園です。感慨深いものがあります。

ただ感慨に浸るだけではなく、これから私も努力を続け、素晴らしい子どもたちとの時間を過ごして行きたいと願っています。

今回、世尊院幼稚園の大沢園長先生にコラムをお願いしました。

今年の四月から年少児を受け入れていただき、現在学園から年長児4名、年中児4名、年少児7名と大人数が通っていて、先生方は子どもたち一人一人に丁寧な指導をしてくださっています。子どもたちは幼稚園大好き、先生大好き、園長先生大好き!という気持ちで毎日楽しく元気に通っています。日々感謝の気持ちです。

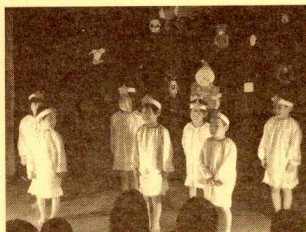
ぴーちっこ編集委員一同



年末年始、学園では楽しい行事がたくさんありました。クリスマス会、招待、お餅つき etc. 子どもたちの頑張る姿や、嬉しそうな笑顔を見る事ができました(^_^) そして 2008 年、みんなで新しい年を迎えました。



～クリスマス会～



き～よし～こ～の夜～♪
可愛い聖歌隊の歌声。



メリ～クリスマス！！



～2008 年、新年の集い～



園長先生のお話。



おとそを一口。飲めるかな？

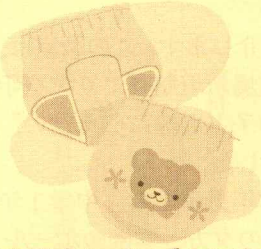


すくすく

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

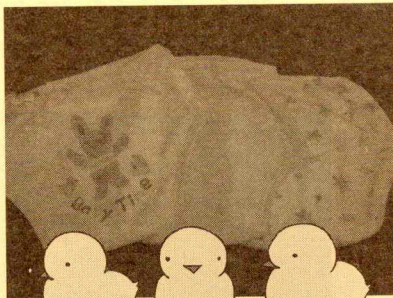
トイレトレーニング

育児をしているママに心配事はつきぬもの。中でも就園前の時期によくあげられるのがトイレトレーニング！『オムツっていつごろから取ればいいの？』『もうすぐ3才なのにまだ上手くできない・・・大丈夫かな・・・』『トイレに行くのを嫌がったらどうしよう・・・』



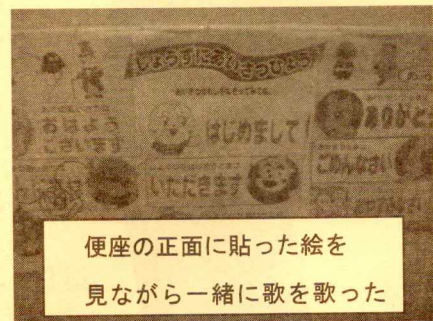
成長には個人差がありますからトレーニング開始にこの時期という決まったものはありませんが、たとえば同時に一回のおしっこの量がたくさん出ているかを見てそれを目安にするのもいいかもしれません。膀胱にオシッコをためて一度にオシッコを出すという身体の準備が出来た時、というと1才~2才くらいでしょうか。とはいっても、学園では2才半を過ぎてトレーニングを始める子もたくさんいるんです。

このくらいの年齢になると、会話ができるので本人への意識付けも実は小さい頃に比べて意外と楽なんです。ビデオや絵本を見せて子どもに意識付けをしていきながら、お気に入りの



キャラクターのパンツを用意して「ぬれちゃうとうさぎさんが風邪ひいちゃうから、オシッコはおトイレに行こうね」などと話しパンツに切り替えたりしています。そしてトイレで出来たときは大いにほめてあげます。だいたいうんちやオシッコの時間を把握してトイレに連れて行くと成功しやすいですよ☆またトイレに行くのを嫌がったり怖がったりする子もいますから、子どもの好きな物などを置いたりして喜ぶ環境を作ってあげています☆

最初の頃は溜まっている感じが本人に自覚できず、なかなかうまくいかない事もあります。「もうすぐ幼稚園なのに・・・」と焦るかもしれません。そんな時には「小学生になるまでに1人でトイレに行けるようになれば充分！」と開き直ってしまいましょ！失敗は叱らず、上手に出来たときは大いに褒めながら、難しい時には少しトレーニングを中断してみてもいいかもしれませんね。



便座の正面に貼った絵を見ながら一緒に歌を歌った

まずはママが心にゆとりを持つことが大事です。

ある日突然ぱっと出来るようになったりするものです

このゆび とまれ!

今号では聖友学園空手教室をご紹介します。この教室は、平成12年、上地流空手阿佐ヶ谷道場新垣館長より“空手に育てられたご自身の経験を学園の子ども達に伝えたい”と、お話をいただき活動が始まりました。

現在は西田先生の指導の下、小学3年男子1名、中学1年男子2名の合計3名が、毎週土曜日の夕方、学園のホール

にて練習にはげんでいます。練習の取材にお邪魔した日はちょうど昇級審査前ということで、審査で行う“型”の最終確認中。普段の生活での印象とまた少し違う、バシッと決まっかっかしい子ども達の姿が見られました。西田先生から「始まる前もクネクネしないよ！それだけで10点減点になるぞ！」など激が飛び、いい緊張感のある稽古風景を見ることができました。

心の居場所

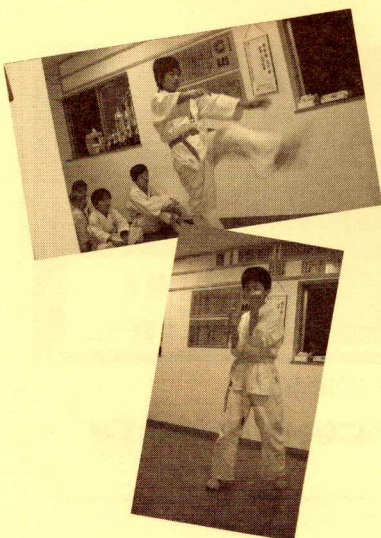
みなさんこんにちは。空手教室でお世話になっております、西田英明と申します。

まず最初にご報告があります。五月二十五日、空手教室の三名の生徒の昇級審査が行われ、一名が五級に、二名が八級に、それぞれ見事合格いたしました！おめでとう。

その真剣な表情、怖いような緊張感、うれしい、くやしいetc どれもが良い経験となる事でしょう。そして今までこの日のためにやってきた事、積み重ねた時間、めくるめく想い、こそが宝であり真の目標であります。努力した事ばかりでなく、一緒に過ごした時間、泣き、笑い、怒り、悲しみ、その全てが“お宝”。そのお宝を支えてくださっているみなさんと共有出来ていると思える事が、私の居場所。いわば“心の居場所”であります。この“居場所”は目に見えない、形の無いものですが、すばらしい“力”となって私を支えてくれました。

今NHKの朝の連続ドラマ『瞳』の中で里親里子をあたたくとりまく“暮らし”にその“居場所”を生々しく感じました。この様なすばらしい“力”を与えてくれる“心の居場所”を“創る”機会を与えていただき大変感謝しております。そしてこの事は全て子ども達と彼らを支えてくださっている聖友学園の職員様お一人お一人から学ばせていただきました。

そこで一句 ‘教えてた つもりが実は 学んでた’
これからも三人の‘子’と‘供’に“お宝”をつくるぞー！！
追伸 “お宝”のほしい子はいつでもおいで！



<3人の生徒にインタビューしました>

★ 今一番がんばっているところはどこですか？

- ・型「完^{かん}和^わ」。ちょっと難しいけれどがんばっている。
- ・型「^{せい}りゅう^{りゅう}十六」
- ・礼儀、返事の仕方、技の名前を覚えること

★ 空手の楽しいところはどこですか？

- ・組み手、型の練習
- ・自分がかっこよく見える

★ 西田先生はどんな先生ですか？

- ・やさしい、たくましい。ちょっとだけ怖い。

★ これからの目標を教えてください

- ・もっと級を上げていきたい
- ・初段（黒帯）までがんばる

☆ ぴーちっこ広場 ☆
 お集まりください

「ぴーちっこ」は皆様とたくさんのお話ができる広場になるうとスタートしました。皆様には、「おたより」のかたちで広場に集まっていたいただき、子どもたちに関する様々な事柄を一緒に考えていきたいと思っています。

皆様からのたくさんのお便りをお待ちしております。下の用紙を切り取って、「意見」「感想などお寄せください。ファックス、Eメールでもけっこうです。」

※ Eメールの場合は、件名に「ぴーちっこ係」と入れて下さい。」

「ありがとうございました」

次の皆様よりご協力を頂きました。厚く御礼申し上げます。

(平成十九年十月～平成二十年三月。敬称略)

△寄付金▽

財) SBI子ども希望財団、床次瑞彦、昭和池田記念財団、東京文化幼稚園 母の会、中島和代、榊タイスケ、有限責任中間法人 日本動画協会、萬里賢治

△寄付物品▽

佐藤幸子、鈴木栄子 (次頁続く)

の り づ け

お
 る

※今後継続して「ぴーちっこ」の送付を希望されますか? ・はい ・いいえ

ご住所 _____ TEL _____

お名前 _____ FAX _____

の り づ け

野の花会、古屋桂子、財）日本野鳥の会、
 カーブス西荻北店、㈱三菱東京UFJ銀行
 行 CSR 推進室、全国シヤンメリー共同
 組合、日本鏡餅協会、東京第三友の会、
 藤田美子、長田知也、長田詩織、東京馬
 主協会、毎日新聞東京社会事業団、伊藤
 政江、㈱プレナス、㈱ジャパンエナジー、
 蓮沼、ヤマザキ製パン従業員組合、東京
 大江戸ライオンズクラブ、門司一徹、渡
 辺範子、㈱ユニクロ、㈱ドール、水野由
 美

△バースデーフレンド▽

上田和子、松沢勝子、佐藤美弥子、原
 あや子、細田晴美、稲垣宏、朝倉良江、
 二宮徳子、内山真規子、速水敬友、茂手
 木政則、茂手木暁子、比嘉芳子

△招待▽

ドレスナー証券（キツザニア）、木下サ
 ーカス（サーカス）

編集後記

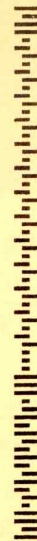
今回ぴーちっこの編集にご協力して
 いただきました皆様、ありがとうございます
 でした。やっと49号の発行にいたる事ができ
 ました。その時季に合わせた活動内容や役
 立つ情報等を皆様からの声と共に作り上
 げていき、お伝えできるようこれからも取
 り組んでいきたいと思えます。今後ともよ
 ろしくお願い致します。

ぴーちっこ編集委員一同

1 6 6 - 8 7 9 0

東京都杉並区阿佐谷北3-28-19

聖友ホーム「ぴーちっこ」係行



料金受取人払

杉並局
承認

2048

差出有効期間
平成21年6月
30日まで
(切手不要)

